



スカパーJSATグループ 決算説明会
2010年度(平成23年3月期) 第3四半期

2011年2月3日(木)
(株)スカパーJSATホールディングス

将来の見通しに関する記述について

本説明資料に掲載されている予想、戦略、経営方針、目標等のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しに関する記述であり、これらは、現在入手可能な情報にもとづく経営者の前提、計画、期待、判断などを基礎としています。これらの将来の見通しに関する記述は、様々なリスクや不確定要因の影響を受けるため、現実の結果が想定から著しく異なる可能性があります。このようなリスクや不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものには、以下のものが含まれます。なお、リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんのでご留意下さい。

<経営全般に関するリスク>

- ・当社グループの事業に係わる法的規制等による事業の制約のリスク
- ・顧客情報のセキュリティに関するリスク
- ・大規模災害による重大設備障害に関するリスク

<衛星インフラに関するリスク>

- ・通信衛星の機能不全や運用能力低下に関するリスク
- ・通信衛星調達に関するリスク
- ・衛星への保険付保に関するリスク

<有料デジタル多チャンネル放送プラットフォームサービスに関するリスク>

- ・加入者獲得、維持に関するリスク
- ・放送事業者に関するリスク
- ・ICカードのセキュリティ等に関するリスク

* 内容の詳細については平成22年3月期有価証券報告書をご参照ください。

FY2010 第3四半期 トピックス

■ 有料多チャンネル事業

- ・12月のスカパー！e2が過去最高
- ・3Dコンテンツの充実

■ 宇宙・衛星事業

- ・国内法人による堅牢な収益基盤
- ・衛星取得による増収
- ・オールジャパン体制のスタート

連結業績ハイライト

営業収益は前期比微増

(単位:百万円)

	FY09/3Q累計 グループ連結 (前期実績)	FY10/3Q累計 グループ連結 (当期実績)	前年 同期比
営業収益	104,598	105,551	100.9%
営業利益	12,377	8,637	69.8%
経常利益	11,107	7,433	66.9%
当期純利益	5,895	2,694	45.7%
EBITDA*1	29,491	25,279	85.7%
簡易EBITDA*2	29,856	26,718	89.5%

*1. EBITDAは当期純利益+税金費用+減価償却費+支払利息にて算出。

*2. 簡易EBITDAは営業利益+減価償却費にて算出。

有料多チャンネル事業指標

新規加入件数が、昨年より約1万件増加
ハイビジョン化率が16%まで上昇

(単位:円)

		FY2009/3Q累計	FY2010/3Q累計
ARPU ^{*1} (単価)	Gross ARPU	3,265	3,244
	Net ARPU	1,403	1,476
SAC(単価)		36,722	36,429
新規加入件数 ^{*2}		40.9万件	41.9万件
累計加入件数 ^{*2}		367.1万件	369.6万件
ハイビジョン化率 ^{*3}		3.3%	16.0%

*1. ARPUは、スカパー！3サービス分をまとめて算出しております。

Gross ARPU: 従来の視聴料ベース単価、Net ARPU: 当社売上ベース単価(当社売上となる視聴料又は手数料ベースの単価)

*2. FY2009加入件数からは、ケーブルテレビ足立の分を除いております。

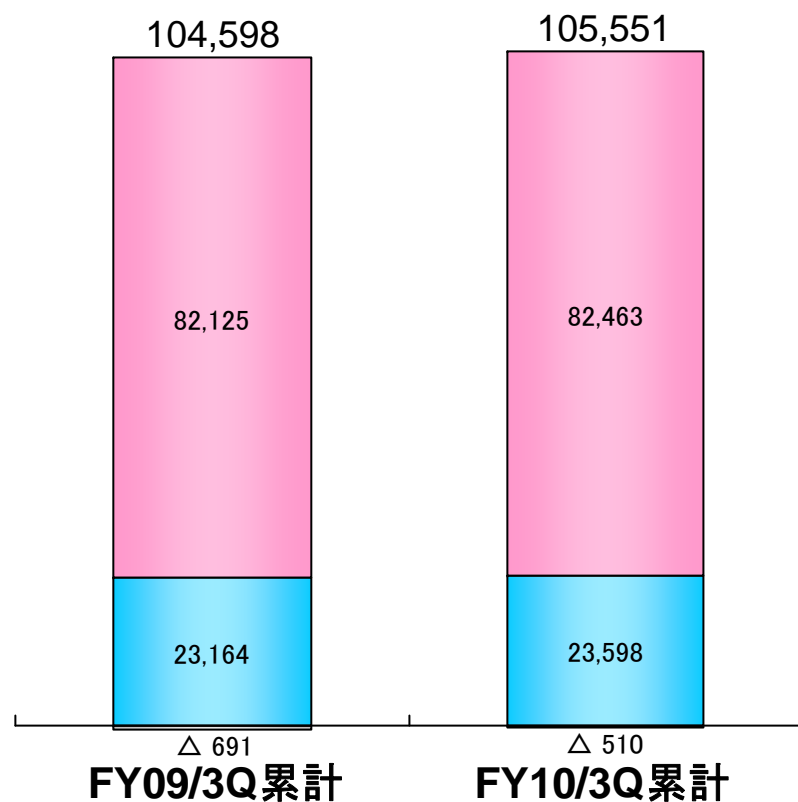
*3. ハイビジョン化率:スカパー！HD累計数/(スカパー！SD累計数+スカパー！HD累計数)

連結業績解説

営業収益

累計加入件数の増加とARPU増加が寄与

(単位:百万円)



- 有料多チャンネル事業
- 衛星事業
- 消去及び全社

有料多チャンネル事業 +3億円

- ・累計加入件数増加とNet ARPU増加による収益上昇
- ・昨年度2月に売却したケーブルテレビ足立の収益分のマイナス

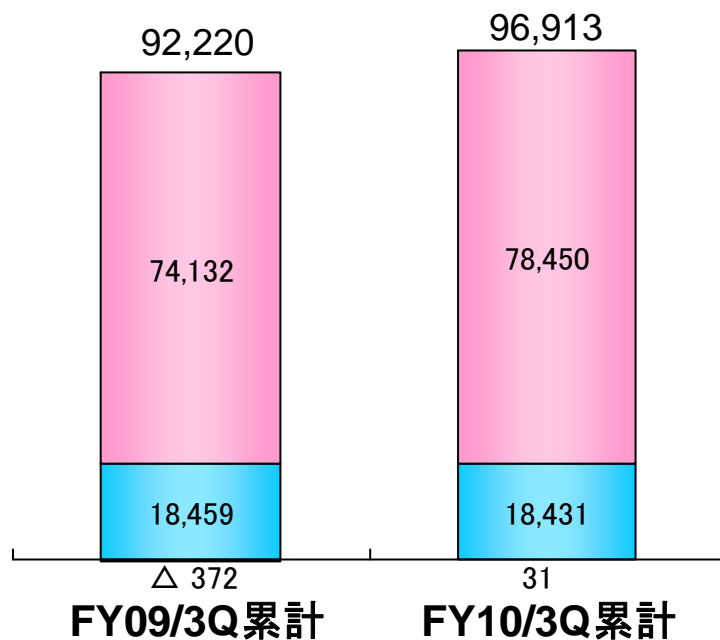
衛星事業 +4億円

- ・N-STAR cに係る衛星携帯電話向けサービスの増収

営業費用

新規獲得費用、ハイビジョン移行費用の コストが増加

(単位:百万円)



- 有料多チャンネル
- 衛星事業
- 消去又は全社

有料多チャンネル事業 +43億円

- ・ワールドカップ関連費用の計上
- ・ハイビジョン移行費用の増加
- ・JCSAT-RAやハイビジョンサービス設備の減価償却費増加分

衛星事業 △0.2億円

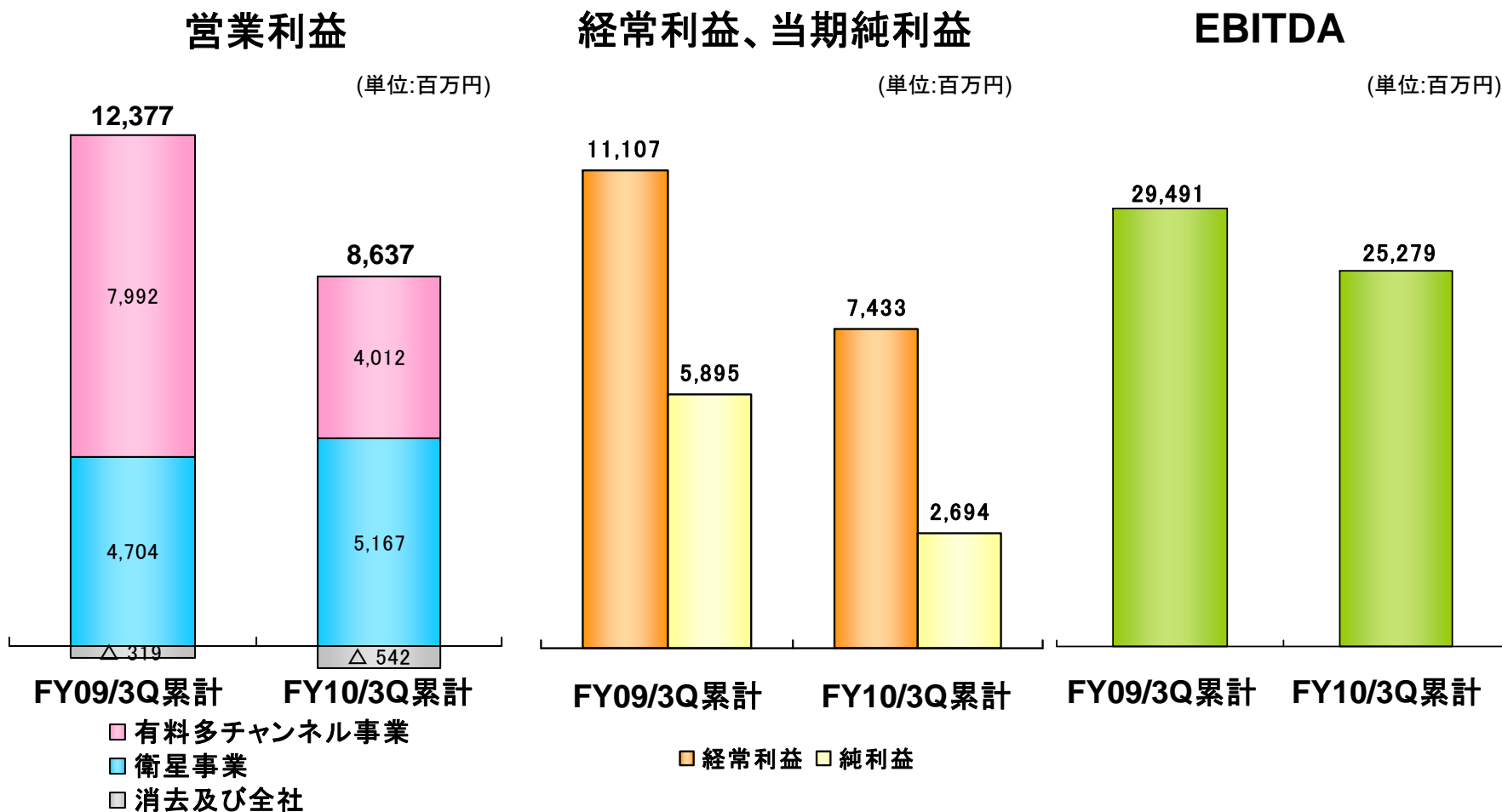
- ・JCSAT-85の減価償却費増加分

減価償却費(総額) +6億円

- ・昨年8月に打ち上げたJCSAT-RAの通年効果
- ・昨年12月に打ち上げたJCSAT-85の通年効果
- ・昨年9月ハイビジョンサービス設備投資に係る減価償却費増加分

営業利益、経常利益、当期純利益、EBITDA

有料多チャンネル事業のコスト増加により 利益、EBITDAが減少

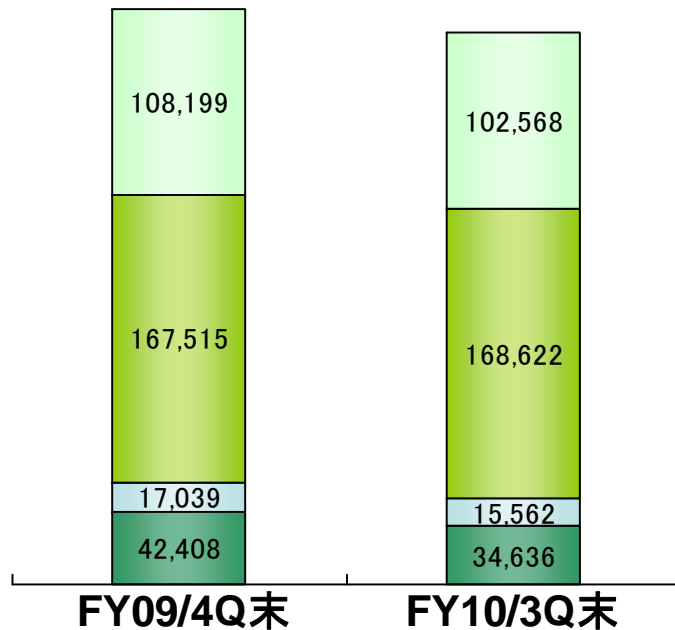


貸借対照表

安定した財務基盤を維持 自己資本比率: 55.4%、流動比率: 226.7%

資産の部

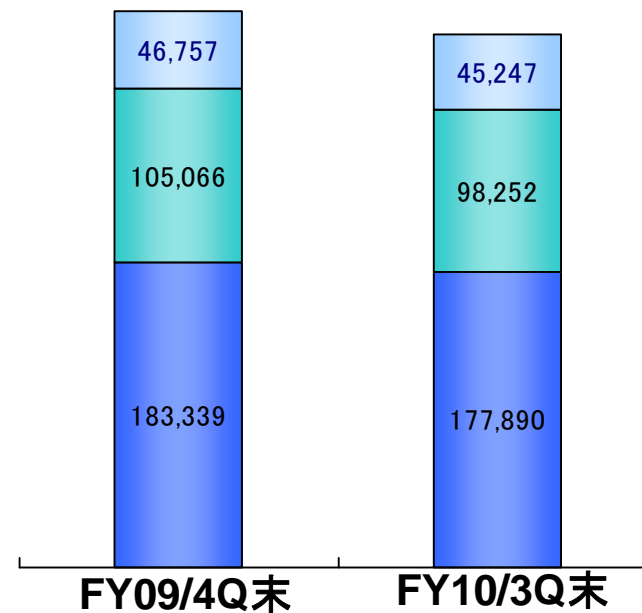
(単位:百万円)



- 流動資産
- 有形固定資産
- 無形固定資産
- 投資その他の資産

負債、純資産の部

(単位:百万円)



- 流動負債
- 固定負債
- 純資産

キャッシュ・フロー

堅調な営業キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

	FY2009/3Q累計	FY2010/3Q累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	31,676	31,199
投資活動によるキャッシュ・フロー	△23,782	△28,175
財務活動によるキャッシュ・フロー	16,423	△15,819
総資金期末残高(A)	77,753	79,470
借入金＋無担保社債期末残高(B)	113,322	93,045
ネット借入金(B-A)	35,569	13,575
設備投資	26,036	16,454
フリー キャッシュ・フロー	5,639	14,744

*. フリー キャッシュ・フロー＝(営業活動によるキャッシュ・フロー)－(設備投資)

主要子会社別業績概要

子会社業績は堅調に推移

(単位:百万円)

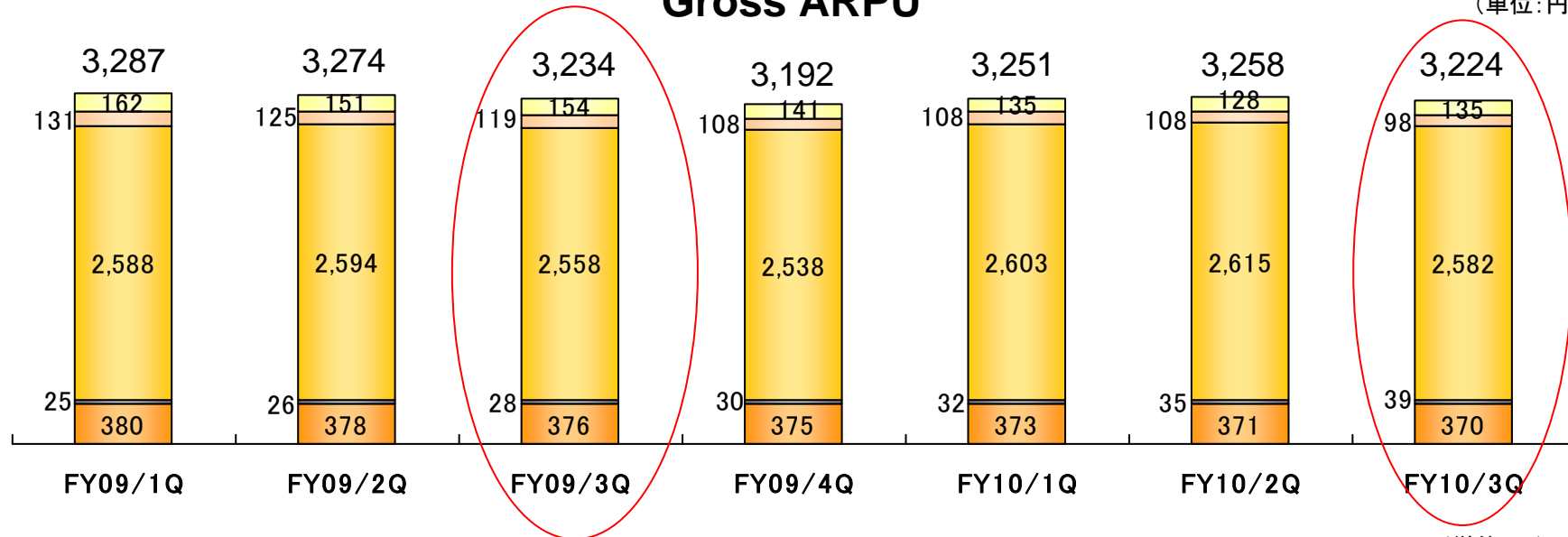
名称		スカパーJSAT	スカパー・ カスタマー リレーションズ	スカパー・ ブロード キャスト ング	オプティ キャスト	衛星 ネットワーク	JSAT International Inc.
事業内容		放送プラット フォーム、 衛星通信	顧客管理	放送事業者	光ファイバを利 用した映像配 信	衛星通信 回線の 再販等	衛星通信 回線の 販売
保有割合(%)		100	100	100	100	92	100
営業収益	FY09/3Q累計	90,339	13,520	9,656	8,528	2,932	1,817
	FY10/3Q累計	91,313	13,148	17,359	6,933	3,392	1,679
営業利益	FY09/3Q累計	13,368	193	△71	△756	270	554
	FY10/3Q累計	8,061	87	233	600	305	626
経常利益	FY09/3Q累計	13,354	195	△70	△818	268	553
	FY10/3Q累計	7,464	94	234	545	287	631

補足資料

ARPU

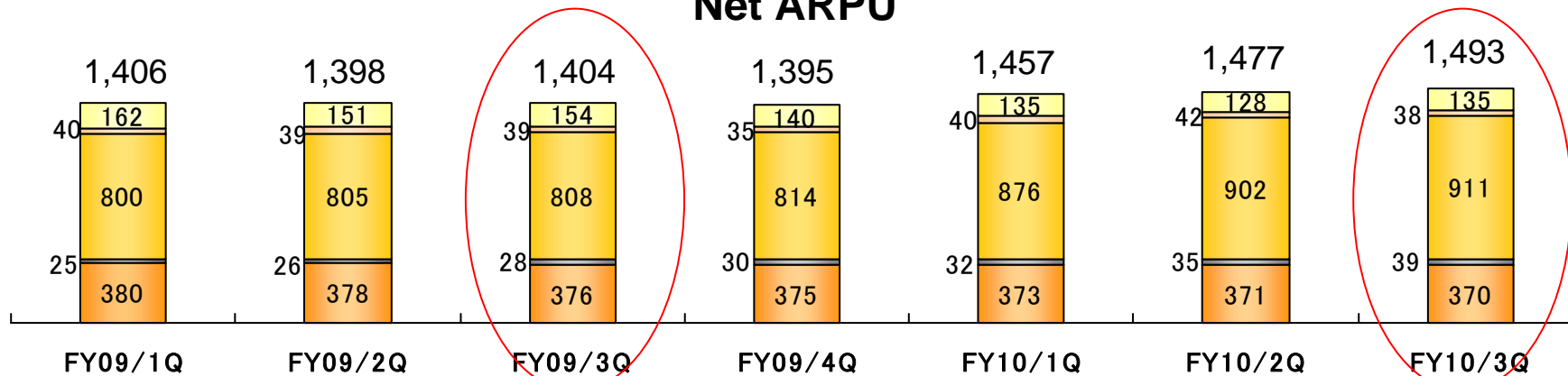
Gross ARPU

(単位:円)



Net ARPU

(単位:円)



■ 基本料/件 ■ レンタル会費/件 ■ フラット視聴料/件 ■ PPV視聴料/件 ■ 自主コンテンツ収入/件

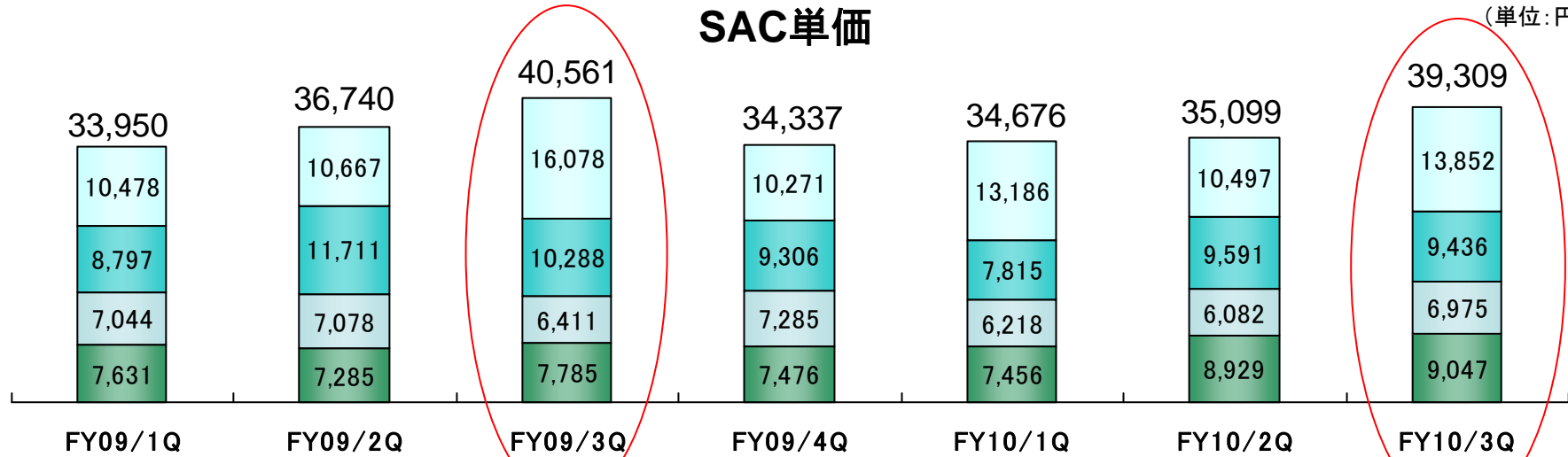
* ARPUは、スカパー / 3サービス分をまとめて算出しております。

Gross ARPU: 従来の視聴料ベース単価、Net ARPU: 当社売上ベース単価(当社売上となる視聴料又は手数料ベースの単価)

SAC

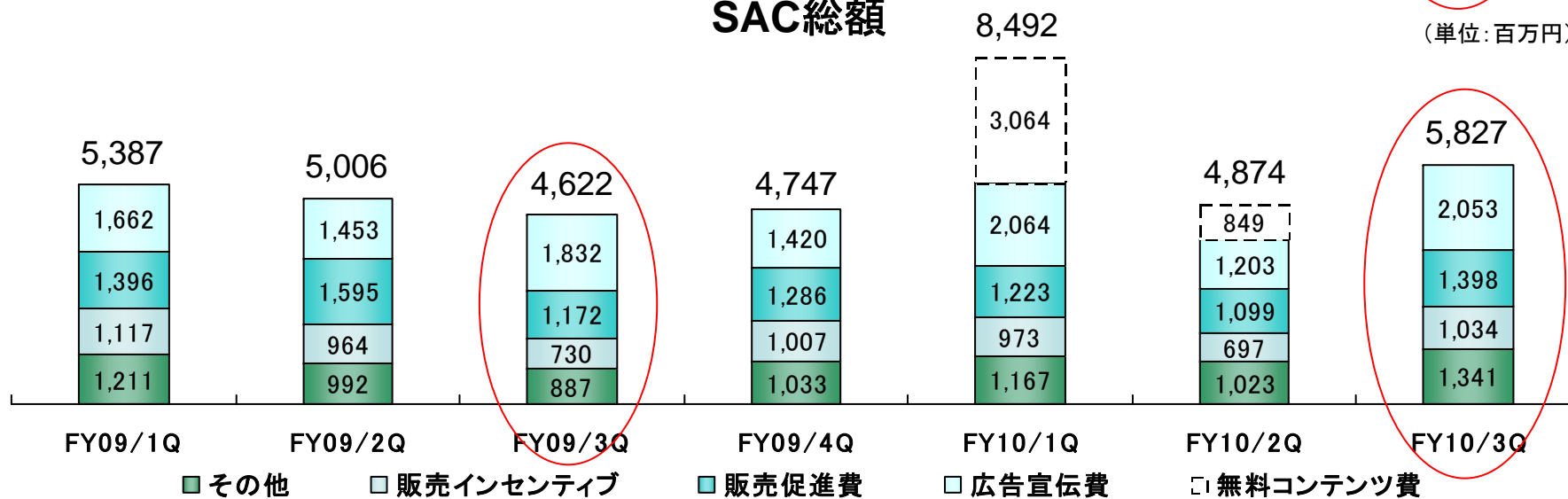
SAC単価

(単位:円)



SAC総額

(単位:百万円)

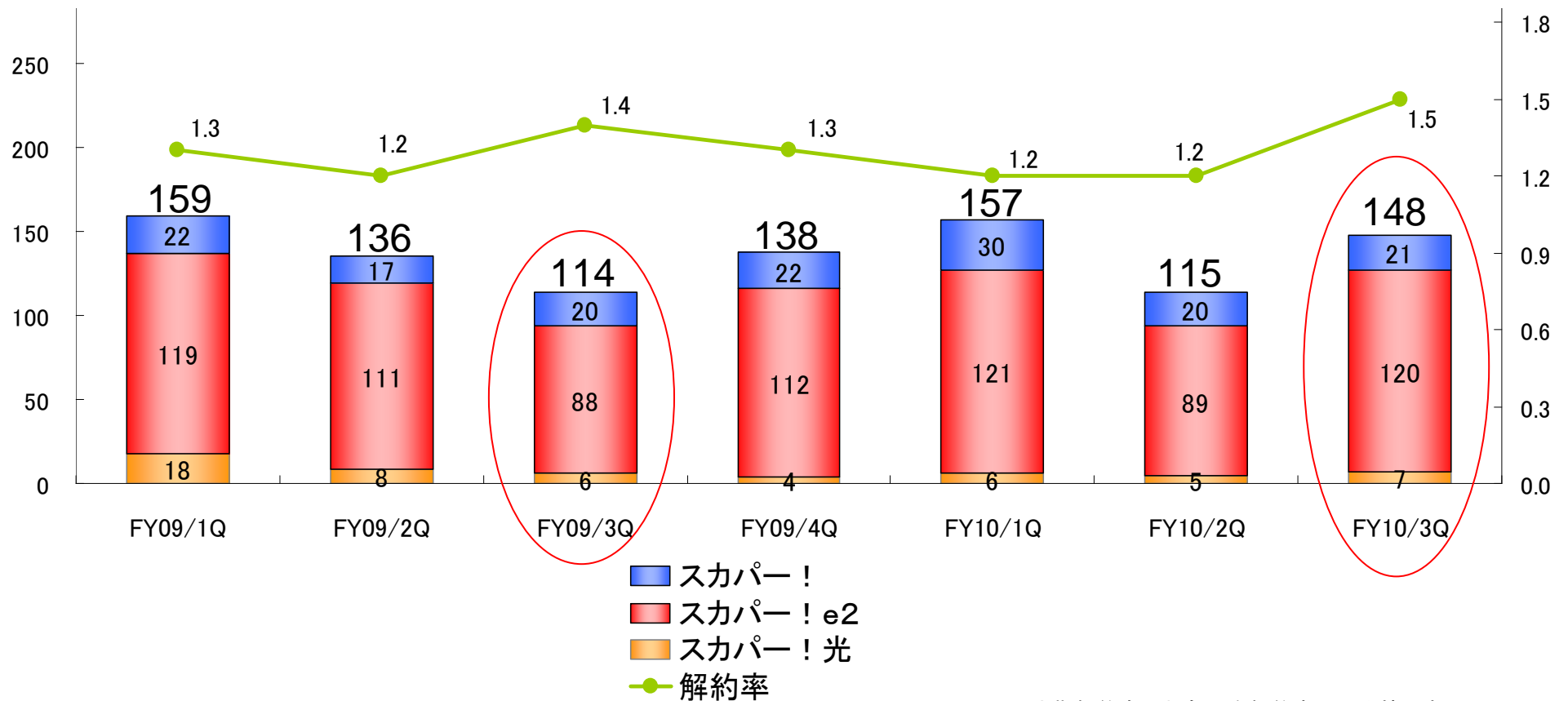


* 無料コンテンツ費は、ワールドカップ関連の放映権料、制作費、販促費等。

新規契約件数、解約率の推移

(単位:千件)

(単位:%)



*四半期解約率は対象月次解約率の平均値です。

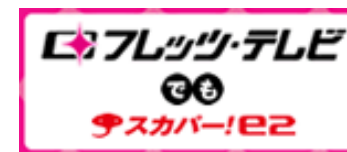
今後の取り組み
～有料多チャンネル事業～

➤新規加入 キャンペーンの徹底

- ・Jリーグ キックオフキャンペーン
新規加入(2月中)で1ヶ月分視聴料が無料
- ・スカパー！e2基本パック1,000円割引キャンペーン
新規加入時の申込で1,000円割引
- ・テレビ買ったならスカパー！e2キャンペーン
テレビ等購入時での申込で5,000円割引
- ・スカパー！e2 Web割
webから申込みれば3,000円割引

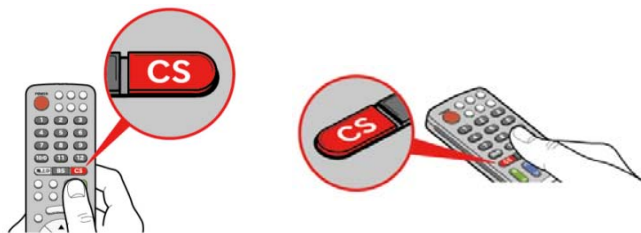
➤スカパー！e2再送信の拡販

NTT東西と連携を強化し、フレッツテレビと共に
スカパー！e2再送信を拡販



デジタルTVの全世帯普及を追風に
スカパー！e2を最大化

➤“テレビにe2チューナー内蔵”を 徹底訴求



➤コンテンツの充実

- ・2011 プロ野球徹底放送
- ・2011 Jリーグ全試合放送
- ・宇多田ヒカル コンサート
“Wild Life”
- ・スカパー！時代劇祭り特集

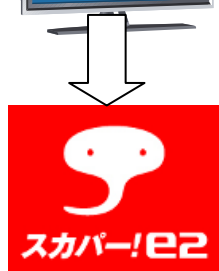


(C)J.LEAGUE PHOTOS

新BSを軸としたスカパー！e2の新展開



➤新BSとスカパー！e2の一体運用



スカパー！e2として
プラットフォーム運営を行う

➤新BS認定チャンネル

第1期(2011年10月～)を皮切りにスカパー！e2
チャンネルラインナップの最終形の完成を目指す

現状のBS放送	新BS放送	
	【第1期】 2011年10月以降 開局予定	【第2期】 2012年3月以降 開局予定
12ch	11ch	7ch

新BSへの取組みと
e2の新しい展開

➤BSのみ視聴者への スカパー！e2加入促進

BSのみのアンテナを所有している視聴者を
ターゲットにした独自商品組成等の加入販促強化

➤スカパー！ならではの 特色あるコンテンツ編成

1chを独自編成し、自主コンテンツに加え、
放送事業者とも連携した多彩なラインナップを提案

3D放送をスカパー！3サービスが牽引



➤メーカーと連動した スカパー！HD拡販

スカパー！HDと3Dテレビ所有者の親和性が今後も高まっていく為
ブルーレイディスク含めたセット共販及びコンテンツを軸に拡販



日本最大の3Dコンテンツ を提供

➤3D番組企画募集作品も 続々放送開始

・TOKYOコントロール

- ・2011 J1 3D 生中継
- ・ベートヴェンは凄い！
全交響曲連続演奏会2010
- ・May 'n アコースティック・スペシャル LIVE
- ・プリンセススーパーイリュージョン 天功と3D
- ・THE 世界遺産3D 他



TOKYOコントロール



May 'n アコースティック・
スペシャル LIVE



ベートヴェンは凄い！
全交響曲連続演奏会2010

➤スカパー！e2でも 3D放送開始

2011年3月より開始



お客様目線でのサービス拡充

➤複数台割引/再加入割引の強化

<複数台割引>

2台目以降の加入料・基本料が無料
更に視聴料が半額(3台目まで)

<再加入割引>

1年以内の再加入で加入料が無料

➤オンラインカスタマーの充実

携帯電話・パソコンからの
24時間「無料体験」申込受付を開始

お客様の目線に立った フレンドリーサービス

➤会報誌の電子化

- ・スカパー！光においても12月から提供
- ・iPhone・iPad版に加え、アンドロイド版でも1月から提供開始



➤長期契約者向けサービスの強化

- ・アニバーサリーサービス
ご加入2年目以降の
お客様向けサービス



今後の取り組み
～宇宙・衛星事業～

安定的収益市場での展開

▶ 公共ビジネス市場

- ・相乗り衛星の提案
- ・災害時の通信環境を提供する
EsBirdサービスにて新規顧客を開拓



▶ 移動体ビジネス市場

- ・海洋ブロードバンドサービスを展開し、
船舶通信の利用拡大を図る
- ・インマルサット社との協業を推進

衛星優位領域へ注力

▶ グローバルビジネス市場

- ・アジア、中近東、ロシアでの受注拡大
- ・中南米、アフリカ、アジアの衛星利用新興国に
対する防災、地球観測アプリケーション
パッケージの輸出

▶ 宇宙ビジネス市場

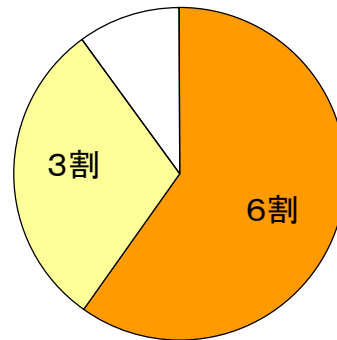
- ・官民連携衛星による宇宙利用の参入
- ・運用委託によるビジネス機会の拡大

長期契約で安定した顧客基盤

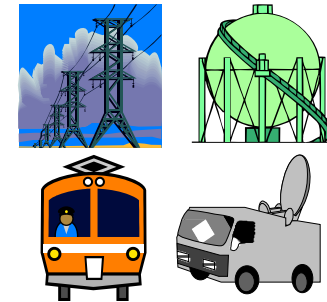
▶ 安定した顧客基盤

- ・国内法人(大企業)や官公庁向けの売上が衛星事業収入のうち約9割

■ 国内法人向け売上
■ 官公庁向け売上



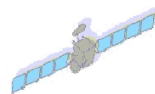
- ・主な国内法人顧客
電力会社、ガス会社、
鉄道会社、テレビ局、
通信会社など



社会基盤を支える 情報インフラ事業

▶ 長期契約を基本

- ・衛星の平均設計寿命 12年～15年



▶ 国内唯一の衛星通信事業者

「広域性」 「同報性」 「耐災害性」

の観点から優位性を発揮

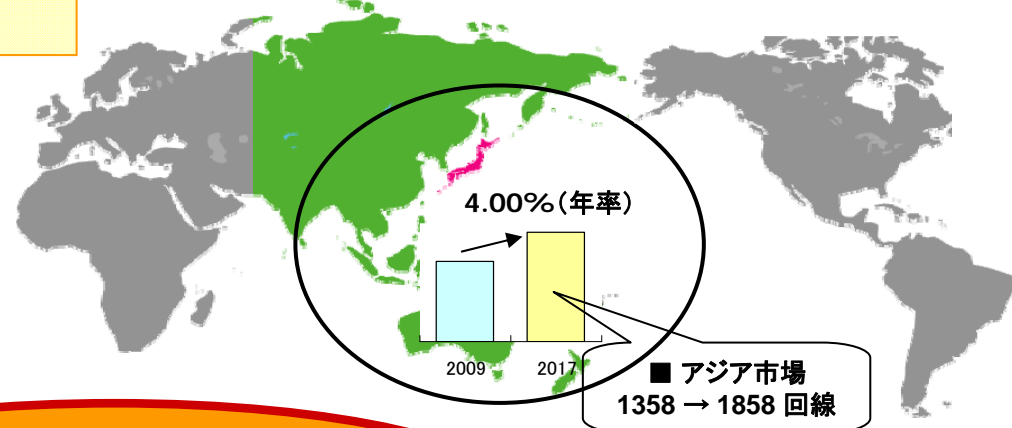
グローバルビジネス／移動体ビジネスの推進

▶グローバルビジネスの推進

今後、アジアの衛星市場は
著しい成長へ

- ・北米におけるインテルサット社に続く
アジア、欧州での衛星事業者との協業

アジア衛星回線需要予測
(2009→2017)



データ引用: SES、Wall Street Research,

グローバル・移動体など
新しい分野への積極展開

▶海洋ブロードバンドサービスの展開

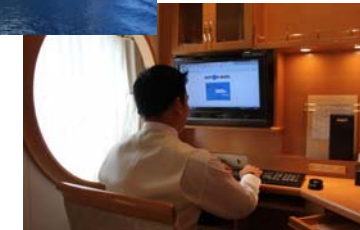
国内3大商船を中心に本格導入へ

世界主要航路をカバーするグローバルなサービスエリアを実現

<利用事例>

- ・客船(にっぽん丸、ふじ丸)
- ・ばら積船、大学練習船、コンテナ船、LNG船、自動車運搬船で実験中

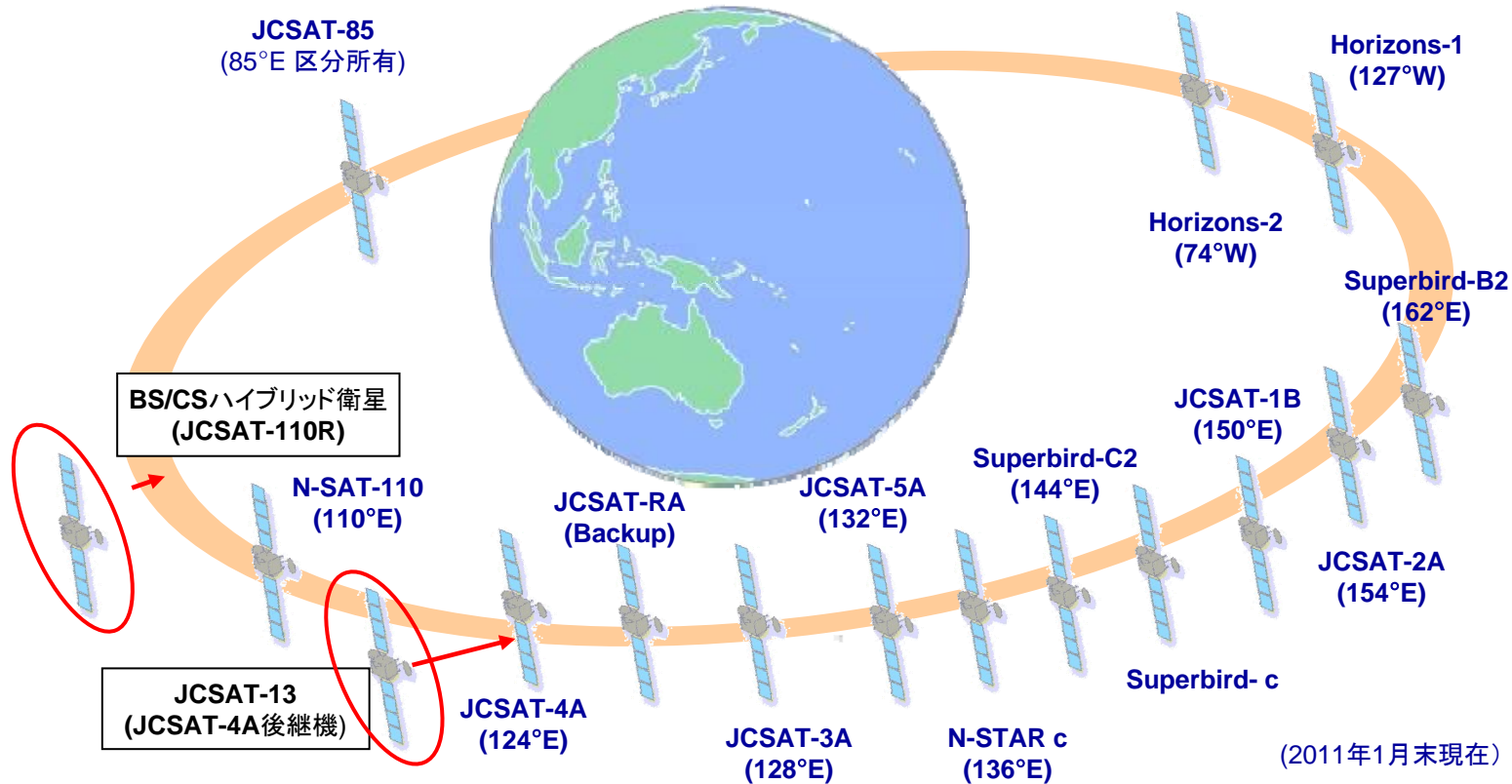
にっぽん丸



船内でのOceanBB利用の様子

衛星フリート図

中近東ーアジアーオセアニアー北米を14機で広域カバー



【今後の打ち上げ予定】

■ BS/CSハイブリッド衛星

(JCSAT-110R CS110度Back up衛星)

<時期> 2011年上期(予定)
 <カバーエリア> 日本
 <中継器本数> Kuバンド 12本+予備

■ JCSAT-13(JCSAT-4A後継機)




<時期> 2013年(予定)
 <カバーエリア> 日本、アジア、オセアニア、中近東
 <中継器本数> Kuバンド 44本

2010年度通期業績見通し

2010年度 通期業績見通し

(単位:百万円)

	FY2009実績	FY2010見通し
営業収益	141,068	143,000
営業利益	15,093	7,400
経常利益	13,472	6,200
当期純利益	14,223	2,000
1株当たり配当(円)	1,200	1,200

新規加入件数	54.7万件	61.4万件
 スカパー!	8.1万件	10.3万件
 スカパー!E2	43.0万件	47.5万件
 スカパー!光	3.6万件	3.6万件
純増数	2.2万件	9.7万件
解約率	15.8%	15.6%
累計加入件数	368.8万件	378.5万件

*年度解約率は、月次解約率の合計です。

IR情報等に関するお問い合わせは
下記担当部までお願い致します。

株式会社スカパーJSATホールディングス
広報・IR部 IRチーム

(注)本説明資料の全部もしくは一部を無断で複製・転載することとはご遠慮下さい。